

昨年度の情報処理1の受講生アンケートで複数回答いただいたご意見をもとに、今年度のコンテンツ作成において、次のとおり反映いたしました。

「ノートをとるので、コンテンツ再生中に自動的にページが切り替わらないようにしてほしい」

自動的にページ送りされるバージョンと、手動（クリック）で切り替えるバージョンの2つをご用意しました。学習スタイルにあわせて、ぜひ使いわけてください。

「自宅PCでみたら、再生画面が見切れてしまったよ」

申し訳ありません。モニタの解像度やブラウザのウィンドウの大きさによって見切れてしまうようです。今回は、フルスクリーン表示のHTMLで記述をしていますが、同様の現象が確認された場合は環境を変える（自宅PCではなく、大学PCを使う）などしていただけると助かります。

また、対処法をご存じの方がいらっしゃいましたら、図書館までご一報ください。

「ナレーションの音声・イントネーションが不自然では…」

ナレーションは、音声合成ソフトウェアを使って作成しています。音声の自動生成時、不自然な箇所は図書館員が耳を頼りに修正していますが、完全な調整は難しいようです。初音ミクで有名になった合成音声ですが、音声認識技術のさらなる進歩を願いましょう。

「再生スピードが遅い」

聞き取りやすいように再生速度をゆっくりめにしたのですが、今年は少し早口(?)にしました。また、アニメーションの速さを速くしたり、スライド切替時間を1秒単位で削ったりしました。

それでも遅く感じるという方は、スローな妙味を楽しむつもりで聞いてみてください。

「長い」「量が多い」

e-learningでは「1コンテンツ30分以内のコンパクトな内容にすることが望ましい」というデータがあります。OPACガイダンスは、以前は、ノンストップで約60分でしたが、徹底的に見直しを行った結果、3部構成で最長約15分に編成しなおしました。

1コマ90分授業よりは短いと思うのですが…いかがでしょう？

「説明がわかりやすい。ガイダンスの台本は誰が考えているの？」

ありがとうございます。スライドやナレーションのシナリオなどすべて図書館員の自作です。今後もわかりやすい内容のコンテンツを作っていくと思います。